

令和元年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,536,342円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

●利用状況

		R01上半期	H30下半期	H30上半期	H29下半期	H29上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,245	10,317	11,707	15,021	17,499
	移動児童館利用者数	1,065	919	860	1,033	1,021
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※20(17)	※21(19)	※16(13)	21	20
	開館日数(単位:日)	155	151	151	151	157

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施 ②所長(正規職員)、正規職員1人、非常勤職員4人の合計6人配置(保育資格、児童厚生員資格は所長を含め3人、教諭資格は2人) ③児童センターのお知らせ「はみんぐ」は、乳幼児用と児童用の2部を毎月発行・配布(加納西校区自治会回覧、5つの小学校・聾学校・1つの中学校・幼稚園・保育園・認定こども園、公民館・南部コミュニティセンター・南市民健康センター)、児童センター内掲示、法人のホームページに掲載。毎月の行事報告(コメント入り写真)は児童センター内掲示や、法人のホームページに掲載。特に7月から9月にかけて、酷暑による高温注意報が発令されたため水遊びを中止にしたり、台風接近による臨時休館の際には、速やかに本部広報課によりホームページによって利用者に周知した。 ④常時、ご意見箱を設置するとともに、利用者には、手配りアンケートを実施し、問題の解決に努めた。また、来館・退館時に声をかけ話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。 アンケート結果は児童センターの廊下に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施 ②日常清掃を遂行。玩具については定期的な消毒を実施し毎日の片付け時に破損等の点検を実施。週2回は、就労促進事業清掃班による清掃。 ③普段から省エネ(使用していない部屋の消灯、エアコンの適正室温の設定による節電)に努め、牛乳パックなどの廃材を利用して工作をすることで経費の縮減に努めた。 ④専門業者による遊具点検 年2回(室内の平均台などの点検や戸外の鉄棒などの安全維持管理)行っている。 玩具の破損は、おもちゃ病院ぎふに修理依頼。少額の施設修繕等は指定管理者(本部)または、法人統括事業所長に修理依頼して施設の維持管理に努めた。 施設警備業務については、機械業務(毎夜PM6:00～翌日AM9:30・休館日AM9:30～翌日AM9:30)
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した箇所については、速やかに職員が修繕を実施。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。

危機管理・ 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施、また、法人内の接客や個人情報の保護の研修に参加し、伝達講習を行い職員の認識強化を図った。 ヒヤリハット記入を強化し周知することで事前の事故や苦情の防止に努めた。 毎月、避難訓練を実施。幼児クラブの中や児童の時などに行った。訓練は職員のためにも必要と思い行っている。法人内において監査指導を受けた。
---------------	----------------------------------	--

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 令和元年6月20日～7月5日 保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数138人 【小・中・高校生用アンケート】 令和元年7月5日～7月25日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者79人(小学:1年15人、2年14人、3年15人、4年12人、5年13人、6年4人、中学:1年4人、2年1人、高校:3年1人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 加納西(33人) 三里(26人) 厚見(17人) 加納(15人) 本荘(13人) 茜部(6人) 白山(5人) 徹明さくら(5人) 市橋(3人) 長森南(3人) 市外(2人) その他(10人) 【年齢】 10代(0%) 20代(9%) 30代(86%) 40代(5%) 50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(4%) ほぼ毎日(1%) 週2～3回(9%) 週1回(40%) 2週間に1回(31%) 月1回(14%) その他(1%) 【来館相手】 子(100%) 孫(0%) 友人(0%) その他(0%) 【子・孫の年齢】 0才(17%) 1才(33%) 2才(41%) 3才以上(9%) 【来館方法】 徒歩(27%) 自転車(5%) 自家用車(67%) 公共交通機関(1%) その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(43%) 広報紙・チラシ(8%) 学校(0%) 保育所・幼稚園(0%) 知人・友人(33%) ぎふし子育て応援アプリ(6%) ソーシャルメディア(0%) その他(10%) 【評価】 (あいさつ)……満足(96%)、ほぼ満足(3%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(96%)、ほぼ満足(3%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(93%)、ほぼ満足(7%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ)……満足(71%)、ほぼ満足(27%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓)……満足(78%)、ほぼ満足(18%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感)……満足(65%)、ほぼ満足(24%)、普通(10%)、やや不満(1%)、不満(0%) (換気)……満足(64%)、ほぼ満足(28%)、普通(7%)、やや不満(1%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【学校名】 加納西小(28人) 三里小(23人) 附属小(8人) 加納小(7人) 陽南中(6人) 厚見小(2人) 市外(2人) その他(3人) 【学年】 小学:1年(19%)、2年(18%)、3年(19%)、4年(15%)、5年(17%)、6年(5%) 中学:1年(5%)、2年(1%)、高校:3年(1%) 【利用頻度】 初めて(5%)、毎日(2%)、週4・5回(7%)、週2・3回(22%)、週1回(37%)、 その他(27%) 【来館相手】 ひとり(22%)、友人(33%)、兄弟姉妹(18%)、父母(25%)、祖父母(1%)、 親戚(1%)、その他(0%) 【来館方法】 徒歩(28%)、自転車(32%)、自家用車(40%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】 ドッジボール(24%)、卓球(17%)、カラム(19%)、カードゲーム(20%)、 オセロ(3%)、けん玉(2%)、その他(15%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ○駐車場の地図をHPにのせてほしい。 ⇒本部の広報課にお願いして、新しくHPに掲載しました。 ○畳を新しくしてほしい ⇒畳は2014年9月に新しく入替をして5年経ちます。幼児室の畳の為に使用頻度が多く、ささくれになっている箇所があります。現在、新しくすることが出来ませんので、ご利用される時に、職員にお手を掛けていただきますと敷物をご用意します。岐阜市には要望を伝えました。 ○おもちゃ(プラレール)の電池切れがある。 ⇒過去に、電車のモーターが動いた状態でおもちゃ箱の中に入れてあったことが幾度となくあり、現在は、モーターを外して、手で遊んでいただくようにしてあります。ご理解ください。 ○先生方が、やさしく接してくれて楽しく利用している。(相談にのってもらえる) ⇒全職員は、1人ひとりの保護者の立場になって、児童センターに来館された時間は、少しでも子育てでのサポートが出来るように寄り添い楽しい時間になるようにしています。 ○製作が工夫されていて楽しい。 ⇒職員は、各年齢にあった工作を日々考えています。安全で親子で作って満足感があり、家に持ち帰ってもう一度作ってみたい製作などに配慮しています。 ○子どもの名前をいつも呼んでもらえてうれしい。(職員の出迎え、見送りが嬉しいです。先生方の明るい挨拶が嬉しいです) ⇒子どもの名前を覚えて呼んでもらうと嬉しいですよね。職員一同がそんな嬉しいことをたくさん積み重ねていくような児童センターを目指しています。 ○駐車場が近くにあるといい。 ⇒児童センターの北(民家2軒隣)に11台分の駐車場を借りてありますが、乳幼児を沢山運んだ保護者の方にはご迷惑をお掛けして申し訳ありません。市に改善をして頂くように要望を出しています。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	(A)	(S)	(S)
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	B	B	B
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	S	S
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>①子育て支援事業(新たな取り組み) ○「岐阜県地域振興課のチーム清流ミナモ派遣」と「レクリエーション指導派遣(県委託事業)」を活用して、幼児クラブを実施した。内容は、レクリエーション指導者の特技を活かした集団指導で、通常の幼児クラブとは違い、保護者、幼児共に好評であった。特に男性指導者の「体操のお兄さん」さながらの指導は幼児に大好評だった。また、後半は、ミナモちゃんと体操をして交流を深めることが出来た。初めは驚く幼児もいたが、最後には親子でミナモちゃんと笑顔の写真を撮る微笑ましい様子が見られた。(7月～9月) ○岐阜市科学館の出前講座を活用して、幼児の科学遊びを実施した。いままで児童対象の出前講座は2度ほど行ったが、幼児対象は初めて開催だった。内容は音の実験(紙コップなどを使って動物の鳴き声の再現・ペンシルバルーンと紙コップを使った風船電話作り)を親子で楽しんだ。また、大きな太鼓にペンシルバルーンを近づけて音の振動を感じたり、空気砲で作った的を倒す遊びを体験した。保護者からは貴重な体験ができたと好評だった。</p> <p>②移動児童館 ○夏休みに、三里放課後児童クラブ(おおぞら)で、遊びのスタンプラリーを行った。事前に6コーナーの遊びの説明書やグッズを三里放課後児童クラブの職員に渡しておき、遊びのルールや進行を児童達で話し合っ決めてもらった。当日は、120人の児童が参加し、「夏休みの最後にも同じ遊びをやりたい」と、嬉しい声が聞かれた。今後、児童のやる気を引き出し、児童に満足感を与える企画を検討するきっかけとなった。</p> <p>③児童健全育成事業 ○職員が、児童の興味・関心がどこにあるかに目を向けて、いろいろな新しい行事を企画した。特に、夏休みの「スライムパレット作り」の工作は、3日に分けて10名ずつ募集したのに対して、受付初日に定員がいっぱいになった。今回の行事を通して、職員もいい勉強になったので、今後につけていきたい。 ○今期の夏祭りは、目玉として、南警察署に依頼し、児童が乗ることが出来る「白バイ」「お巡りさんの制服」「パトカー」の貸し出しをお願いした。子ども達は、本物のパトカーに乗れたことなど、大好評だった。また、この企画は、地域の警察署の方に児童センターの実態を見ていただく良い機会だと思い実施した。帰りには、参加してくれた利用者に折れ曲がる蛍光リストバンドをプレゼントして下さり、児童は嬉しそうだったので、今後も、続けていきたい。 ○児童センター運営委員会の際に、陽南中学校の校長先生に行事のボランティアをお願いしたところ、お化け屋敷、夏祭りに沢山の中学生をボランティアとして派遣してもらった。また、子ども運営委員会にも参加し障子作りや、お墓作りを小学生に指導してくれた。中学生の中には児童センターに来るのが初めての生徒がいたが、ボランティア活動以後遊びに来た生徒がいた。児童センターを知ってもらえるいい機会にもなった。 ○中・高校生と乳幼児のふれあい体験の実施。パパと遊ぶの行事の中で、高校生と小学生が「大型絵本の読み聞かせ・工作指導」等を行い、乳幼児とふれあった。(これは、児童館ガイドラインの改正で示されたものの1つ)</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○今まで夏野菜は職員が採って行事の後に利用者に配っていたが、今期は、親子で「夏野菜の収穫」を7月17日と23日に行った。子どもに野菜のなっているところを見せてあげたい、なっている野菜を取る体験をさせてあげたいという利用者の声を取り上げ、親子で野菜を身近に感じてもらう機会が出来た。天候の関係で野菜は余り出来ていなかったが、お母さんは子どもに「きゅうりがあそこになっているよ」とか「チクチクして痛いね」と楽しい会話をしていた。収穫はナスか、きゅうりが1人1～2本でしたが、幼児にとって初めての体験だったこともあり満足そうでした。これからも、利用者の声を聴いてチャレンジして取り組みたい。 ○前期のアンケート内容の中にバランスボールを取入れて欲しいという要望があったので、6月26日(水)に行った。今後も定期的に、取り入れたい。 ○多胎児サークル(双子・三つ子)G・ツイズからの移動児童館の依頼をうけ、7月19日に行った。3人の職員が0才から3才の年齢別に付き、保護者の手伝いをしたので、マカス作りやカスタネット作りがスムーズに行われて良かった。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○今期は幼児用の科学遊び(出前講座)を行った。参加者からの反響が良かったので、今後も年に前期と後期の2回実施できるように取り組みたい。 ○今後も、地域の高齢者の方と一緒に児童を見守っていく。それが高齢者の「元気に長生きの生きがい」に繋がっていく。 ○今後も幼児クラブは、職員の資質向上に取り組み、幼児の年齢発達に合わせた活動を取り組んでいく。また、児童に対しては、児童の興味に関心を持ち、満足感や達成感を高める内容の行事に取り組み、利用者サービスの向上につけていきたい。 ○前期の要望にあった親子ヨガ(幼児)を、下半期の10月31日(木)定員20名で実施決定。</p>

●所管課の意見

<p>○毎月、児童センターのおたより「はみんぐ」を幼児用と児童用の二種類作成し、担当地区の6小・中学校、聾学校、幼稚園、保育所、公民館、コミセン、市民健康センターや、ドリームシアター岐阜に配布した。また、中日新聞情報誌「中山道」に行事を掲載してもらおうなど積極的に児童館のPRに努めた。 ○新規事業として岐阜県にミナモ派遣とレクリエーション指導派遣を依頼したり、岐阜市科学館に出前講座を依頼するなど、県・市の事業を活用することで、利用者の満足度を上げることに尽力したことを評価したい。また、夏休み行事に南警察署に警察車両等の貸し出しを依頼し、警察が身近に感じられる機会を提供した点も評価したい。 ○移動児童館について、上半期20回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)に向け順調に実施されており、下半期も引き続き実施していただきたい。 ○地元の高齢者に児童センターの9つもの事業の講師をお願いすることで、児童と高齢者が交流する場を提供するとともに、高齢者にとっては生きがいを感じる機会となっている。 ○熱中症や度重なる台風への適正な対応によって、大きな事故が発生しなかったことを評価したい。また、今期は災害に対するマニュアル作成に尽力されたことにより、今後施設としての災害への認識や適応力の高まりに期待したい。 ○様々な資格を有した職員を多く採用・配置している職員体制は、安心安全な施設運営にとって高く評価されるものであり、経営状況についても問題なく運営されている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>おばけ屋敷や夏祭りに中学生ボランティアを募ったり、乳幼児と中学生とのふれあい体験に取り組むなど、児童館ガイドラインに沿った活動を行っており、評価する。 移動児童館の実施回数も多く、下半期も続けて実施してほしい。 利用者からの要望や意見に対しては、これからも応答的な回答を心がけてほしい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
